

報道関係各位
プレスリリース

株式会社 SkyDrive

**万博レガシーを継承し社会実装へ。
全国に先駆けた大阪での空飛ぶクルマの商用運航に向け、コンソーシアム設立を合意**

2026年5月8日、大阪港パーティポートにおいて「大阪港パーティポートを拠点とした空飛ぶクルマ商用運航に向けたキックオフ会議」（以下「本会議」）が開催されました。

本会議において、「空飛ぶクルマ」（※1）の開発・製造・販売を行う株式会社 SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役 CEO 福澤知浩、以下「SkyDrive」）は、全国に先駆けた商用運航と複数事業者による大阪港パーティポートの共同利用に向け、大阪府、大阪市、大阪市高速電気軌道株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長 河井英明、以下「Osaka Metro」）、株式会社 Soracle（本社：東京都中央区、代表取締役 CEO 太田幸宏、以下「Soracle」）、丸紅株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 大本晶之、以下「丸紅」）らと共に、コンソーシアムの設立について合意したことをお知らせいたします。

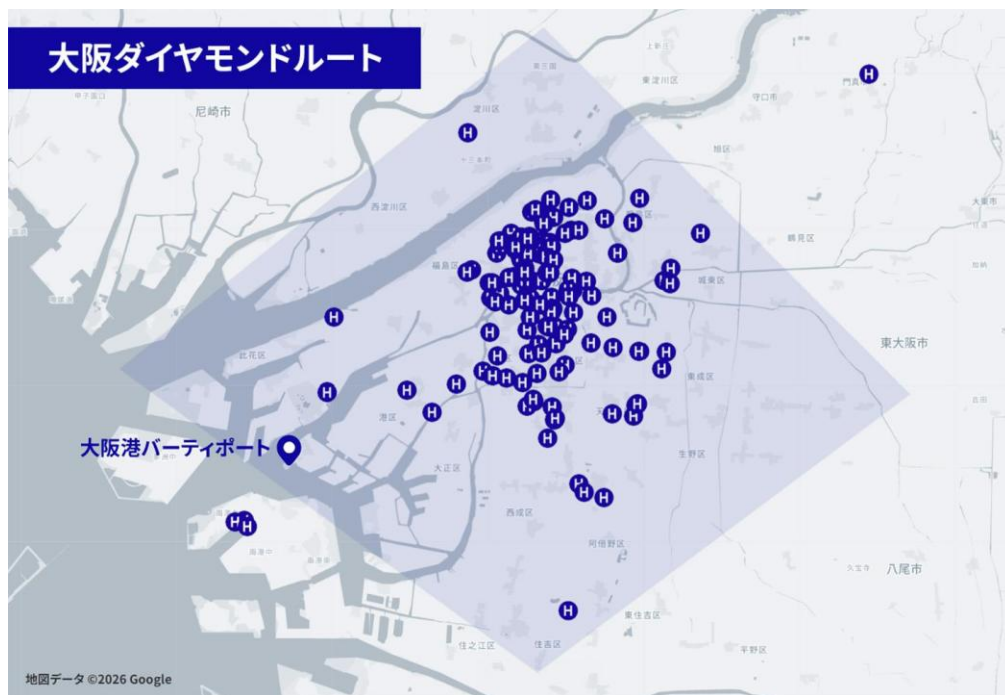
■ 本会議の内容

本会議では、大阪港パーティポートを拠点とした商用運航に向けた各社の事業計画等の説明がありました。吉村洋文 大阪府知事からは「全国に先駆けて、大阪港パーティポートを拠点として空を自由に移動できる『空の移動革命』を実現するために、各事業者とともに推進していきたい。」といった、強力なバックアップと期待の表明があり、大阪における空飛ぶクルマの実装に向けた決意を共有いたしました。



左から丸紅株式会社 常務執行役員 国内統括 川邊 太郎氏、株式会社 Soracle 代表取締役 佐々木 敏宏氏、株式会社 Soracle 代表取締役 太田 幸宏氏、大阪府知事 吉村 洋文氏、大阪市長 横山 英幸氏、株式会社 SkyDrive 代表取締役 CEO 福澤 知浩、大阪市高速電気軌道株式会社 代表取締役社長 河井 英明氏

本会議で、SkyDrive は大阪港パーティポートを活用した商用運航に向けたロードマップ案を提示した他、都市部での実装には既存インフラの活用が不可欠となることから、大阪市内に 146 か所ある緊急離着陸場（H マーク）など既存インフラの活用検討・調査を行う意向を表明いたしました。



補足）大阪ダイヤモンドルートについて：<https://skydrive.co.jp/archives/60498>

■ これまでの大阪エリアでの取り組み

SkyDrive は、2021 年 9 月に大阪府・大阪市と連携協定を締結し、2024 年 8 月には、Osaka Metro と業務提携契約を締結するなど、行政や事業パートナーとともに、大阪エリアでの実装を見据えた取り組みを行ってまいりました。

また、2025 年には、大阪・関西万博及び大阪港パーティポートにおいて「空飛ぶクルマ」のデモフライトを実施いたしました。

さらに大阪・関西万博の閉幕後も、Osaka Metro が主催するイベント「空クルラボ」等において、展示・搭乗体験やトークイベントを通じた「空飛ぶクルマ」の社会受容性・認知度の向上に取り組んでおります。

■ 今後の展望

2026 年 3 月に、関西経済連合会が、空飛ぶクルマを“万博レガシー”として社会実装を実現するための将来ビジョン「めざせ、空飛ぶクルマのファーストペンギン～社会実装と広域展開による『大関西』の実現～」(※3)を公表しており、その中で「2035 年に大阪ベイエリアを中心に 100 機程度の運航」をめざすこととされています。

大阪・関西は、世界でも稀にみる先進的な取り組みが進み、官民が一体となって社会実装を推進している地域です。SkyDrive は、この地域の強みのもと、本コンソーシアムをはじめ、関係者の皆さまと一丸となり、空飛ぶクルマの社会実装の実現に取り組んでまいります。

※1 空飛ぶクルマとは：電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段です。諸外国では、Advanced Air Mobility (AAM) や Urban Air Mobility (UAM) と呼ばれています。

引用元：国土交通省（令和 8 年 3 月付）<https://www.mlit.go.jp/koku/content/001994084.pdf>

※2 SkyDrive と Osaka Metro がポスト万博に向けて空飛ぶクルマの大阪ダイヤモンドルート構想を発表（2024 年 12 月 17 日）<https://skydrive.co.jp/archives/60498>

※3 公益社団法人関西経済連合会 「関西における空飛ぶクルマの将来ビジョン」策定について(2026 年 3 月 25 日)
<https://www.kankeiren.or.jp/material/260325release.pdf>

[関連するプレスリリースなど]

- ・ SkyDrive の大阪・関西万博でのデモフライトに関するプレスリリース <https://skydrive.co.jp/archives/65240>
- ・ SkyDrive の大阪港パーティポートでのデモフライトに関するプレスリリース <https://skydrive.co.jp/archives/66607>
- ・ 令和 7 年度 大阪ラウンドテーブルに関するプレスリリース <https://skydrive.co.jp/archives/69712>

≪株式会社 SkyDrive 概要≫

設立	2018 年 7 月
代表者	代表取締役 CEO 福澤知浩
URL	https://skydrive.co.jp/
所在地	豊田本社：愛知県豊田市挙母町 2-1-1 豊田開発センター：愛知県豊田市西中山町山ノ田 20-2 豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区 名古屋空港オフィス：愛知県西春日井郡豊山町大字豊場 県営名古屋空港 2F 東京オフィス：東京都千代田区平河町 1-3-13 平河町フロントビル 3F 大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第一ビル 8F 山口テストフィールド：山口県山口市阿知須
子会社	株式会社 Sky Works：静岡県磐田市 SkyDrive America, Inc.：Beaufort, South Carolina 29902, U.S.A. 株式会社 AlterSky：愛知県豊田市
事業内容	「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2018 年 7 月に設立、愛知県豊田市を主拠点に「空飛ぶクルマ」を開発し、静岡県磐田市のスズキグループの工場で製造を開始しています。官民協議会の構成員として制度設計にも関与、2020 年に日本で初めて公開有人飛行試験に成功、2025 年には大阪・関西万博にてデモフライトを実施しました。2028 年のサービス開始を目指し、引き続き機体開発に努めてまいります。

本件に関するお問い合わせ

≪株式会社 SkyDrive≫

広報 桶本

携帯：080-6640-7389

Email: info@skydrive.co.jp

<https://skydrive.co.jp/contact>